

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2024年8月27日まで（2014年9月8日設定）	
運用方針	ファミリーファンド方式により、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	ベビーファンド	世界メディカル関連株式オープンマザーファンド受益証券
	マザーファンド	世界主要先進国市場の中から、製薬、バイオテクノロジー、医療製品、医療・健康サービス等の医療関連（メディカル関連）企業の株式
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界主要先進国市場の医療関連企業の株式を主要投資対象とします。</li> <li>徹底したボトムアップ・アプローチを行い、企業の適正価値に対して株価が割安と判断する銘柄に投資します。</li> <li>外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。</li> <li>主として、世界主要先進国市場の医療関連企業の株式に関する運用指図の権限をウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託します。</li> </ul>	
主な投資制限	ベビーファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>マザーファンドへの投資割合は、制限を設けません。</li> <li>株式への実質投資割合は、制限を設けません。</li> <li>同一銘柄の株式への実質投資割合は、取得時において、当ファンドの純資産総額の10%以内とします。</li> <li>外貨建資産への実質投資割合は、制限を設けません。</li> </ul>
	マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式への投資割合は、制限を設けません。</li> <li>同一銘柄の株式への投資割合は、取得時において、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。</li> <li>外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。</li> </ul>
分配方針	毎年8月27日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 世界メディカル関連株式 オープン

愛称：医療革新



第1期（決算日：2015年8月27日）



### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「世界メディカル関連株式オープン（愛称：医療革新）」は、去る8月27日に第1期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。  
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

国際投信投資顧問株式会社は2015年7月1日に三菱UFJ投信株式会社と合併し、「三菱UFJ国際投信株式会社」となりました。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号

URL: <http://www.am.mufig.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-759311

(9:00~17:00、土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

# ◆ 目 次

## 世界メディカル関連株式オープンのご報告

◇設定以来の運用実績	1
◇当期中の基準価額と市況等の推移	1
◇運用経過	2
◇今後の運用方針	6
◇1万口当たりの費用明細	7
◇売買及び取引の状況	8
◇株式売買比率	8
◇利害関係人との取引状況等	9
◇自社による当ファンドの設定・解約状況	9
◇組入資産の明細	10
◇投資信託財産の構成	10
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	11
◇損益の状況	11
◇分配金のお知らせ	12
◇お知らせ	12

## マザーファンドのご報告

◇世界メディカル関連株式オープン マザーファンド	13
--------------------------	----

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			米ドル為替		参考指数※		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	(分配)	税込み 分配金	期中 騰落率	期中 騰落率	期中 騰落率	期中 騰落率				
(設定日) 2014年 9月 8日	円 10,000	円 —	% —	円 105.57	% —	245.34	% —	% —	% —	百万円 1,289
1期(2015年 8月27日)	13,077	0	30.8	120.06	13.7	267.79	9.2	96.1	—	22,171

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れていますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しています。

(注3) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		米ドル為替		参考指数※		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率				
(設定日) 2014年 9月 8日	円 10,000	% —	円 105.57	% —	245.34	% —	% —	% —
9月末	10,366	3.7	109.45	3.7	246.77	0.6	88.6	—
10月末	10,753	7.5	109.34	3.6	250.84	2.2	96.3	—
11月末	11,936	19.4	118.23	12.0	259.01	5.6	93.8	—
12月末	12,278	22.8	120.55	14.2	256.67	4.6	93.1	—
2015年 1月末	12,455	24.6	118.25	12.0	262.60	7.0	95.6	—
2月末	12,832	28.3	119.27	13.0	271.73	10.8	94.9	—
3月末	13,279	32.8	120.17	13.8	278.44	13.5	94.3	—
4月末	12,981	29.8	119.00	12.7	276.86	12.8	95.3	—
5月末	14,084	40.8	123.73	17.2	283.83	15.7	96.2	—
6月末	13,859	38.6	122.45	16.0	278.33	13.4	95.3	—
7月末	14,408	44.1	124.04	17.5	288.18	17.5	96.0	—
(期末) 2015年 8月27日	13,077	30.8	120.06	13.7	267.79	9.2	96.1	—

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 騰落率は設定日比です。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組み入れていますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しています。

(注4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

## ※参考指数に関して

※参考指数は、MSCI ワールド・ヘルスケア指数（米ドル建て税引き後配当込み）（出所：MSCI）です。参考指数は基準価額との関連を考慮して、現地前営業日の数値を用いています。

出所：MSCI。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的など一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

以下、本報告書において上記「参考指数に関して」の記載を省略します。

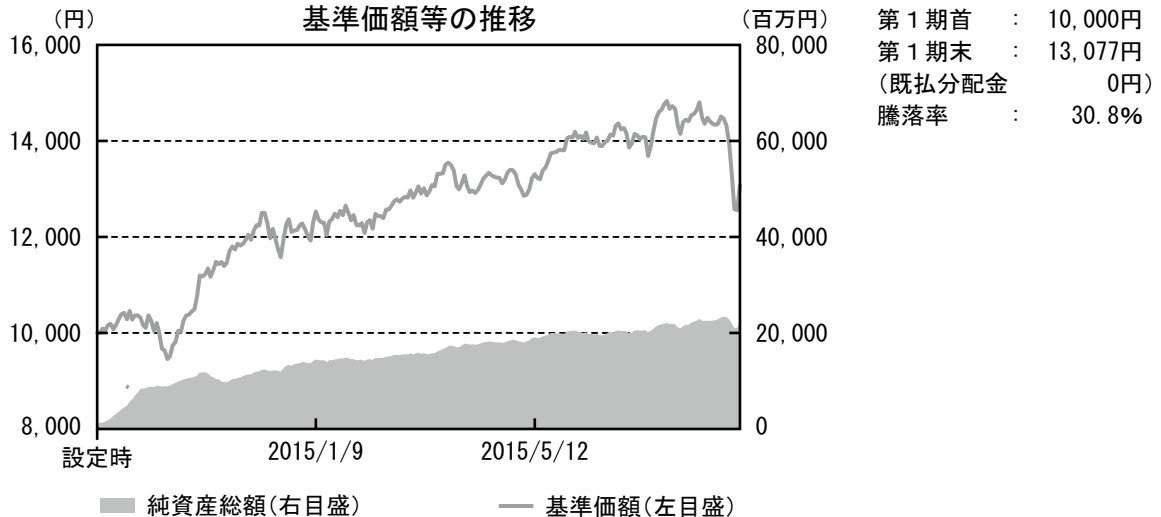
## 運用経過

当期中の基準価額等の推移について

(第1期：2014/9/8～2015/8/27)

基準価額の動き

基準価額は設定時に比べ30.8%の上昇となりました。



### 基準価額の主な変動要因

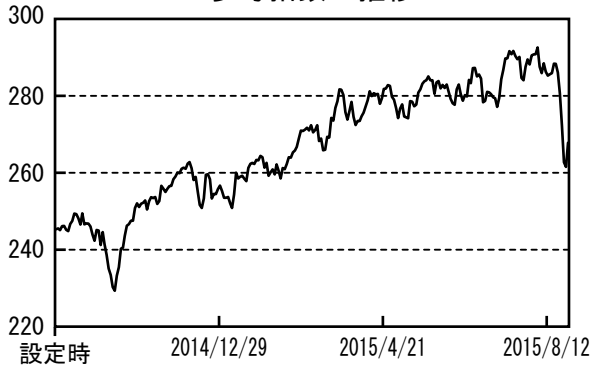
上昇要因

- ・米国の経済指標が堅調であったことや、日銀や欧州中央銀行（ECB）などによる金融緩和が継続するなか、ヘルスケアセクターの業績成長が期待されたことや合併・買収（M&A）が活発であったこと、オバマケア（米国医療保険制度改革法）による保険加入者数が増加したことなどから株価が上昇し、基準価額の上昇要因となりました。
- ・日銀による追加の金融緩和策や米国の利上げ観測などを背景に円安・米ドル高となったことも基準価額の上昇要因となりました。

## 投資環境について

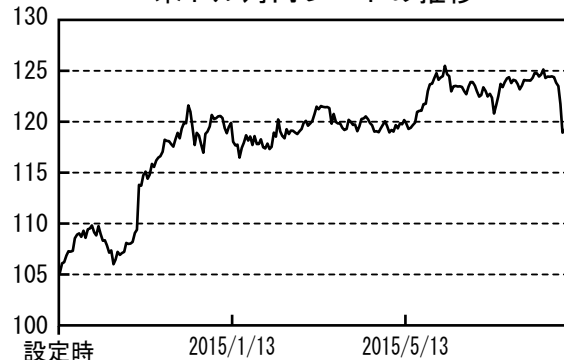
(第1期：2014/9/8～2015/8/27)

## 参考指数の推移



※当ファンドの参考指数は、MSCI ワールド・ヘルスケア指数（米ドル建て税引き後配当込み）（出所：MSCI）です。  
 ※参考指数は基準価額との関連を考慮して、現地前営業日の数値を用いています。

## 米ドル対円レートの推移



（出所：三菱東京UFJ銀行／対顧客電信売買相場仲値）

## ◎株式市況

・当期のヘルスケアセクターの株価は上昇しました。期の初めから2014年9月末にかけては、スコットランド独立問題への懸念や香港の民主化要求デモなどの地政学リスクを背景に株式市場全体は軟調となったものの、ヘルスケアセクターは治験効果が良好だった一部の個別銘柄の上昇などにより堅調となりました。10月中旬にかけては、国際通貨基金（IMF）による世界の経済成長率予測の下方修正や世界経済の先行き不透明感などから下落したものの、10月下旬から2015年3月末にかけては、米国の経済指標が堅調であったことや日銀による追加の金融緩和策の決定、中国の金融緩和と政策、ECBの量的金融緩和などを受けて、株式市場は上昇基調となりました。4月から6月末にかけてのヘルスケアセクターの株価は、ヘルスケアセクターを取り巻く環境は良好だったものの、それまでに大幅に株価が上昇した反動から利益確定の売りが出やすかったことやギリシャの債務問題、中国の株価急落などの影響から、横ばいとなりました。7月から8月上旬にかけては、ギリシャ債務問題の沈静化や中国政府による株価下支え策などから株式市場全体が反発したことを受けて、ヘルスケアセクターの株価も上昇し、MSCI ワールド・ヘルスケア指数（米ドル建て税引き後配当込み）は8月5日に高値を更新しました。8月中旬から期末にかけては、中国株安や中国元の切り下げなどを受けて、ヘルスケアセクターの株価は急落しました。

## ◎為替市況

・当期の為替市況は、日銀による追加の金融緩和策や米国の利上げ観測などを背景に円安・ドル高となりました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

## ＜世界メディカル関連株式オープン＞

- ・世界メディカル関連株式オープン マザーファンド受益証券（以下、「マザーファンド」ということがあります。）を主要投資対象とし、実質的な運用はマザーファンドで行いました。実質外貨建資産については為替ヘッジを行いませんでした。

## ＜世界メディカル関連株式オープン マザーファンド＞

- ・世界の主要先進国市場の製薬、医療機器、バイオテクノロジー、医療サービス企業などの医療関連（メディカル関連）企業の株式を投資対象とし、これらの企業に分散投資を行いました。運用手法はファンダメンタルズ分析<sup>\*1</sup>による徹底したボトムアップ・アプローチ<sup>\*2</sup>に基づき、銘柄の時価総額規模にとらわれず、割安な価値（バリュエーション）に放置され、今後中期的に株価の上昇が見込まれる銘柄や市場平均以上の収益拡大が見込まれると判断される銘柄などに投資を行いました。なお、運用指図に関する権限をウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託しています。
  - \*1 ファンダメンタルズとは、マクロ視点に立った場合、国の経済状態を表す経済指標のことを指し、ミクロ視点に立った場合には、個別企業の財務・収益状況を表す指標を指します。個別企業の財務データや業績見通しといった株価を動かす基本的な要因を重視した分析を、ファンダメンタルズ分析といいます。
  - \*2 ボトムアップ・アプローチとは、投資対象となる個別企業の調査、分析に裏付けられた投資判断をもとに銘柄選定を行い、その積み上げによりポートフォリオを構築していく方法をいいます。
- ・当期は、設定日である2014年9月8日から株式を新規に組み入れ、9月10日の組入銘柄数は70銘柄としました。その後、バイオ医薬品会社のアーキリオン製薬、バイオ医薬品会社のシナゲバ・バイオフーマ、がん治療システムメーカーのバリアン・メディカル・システムズ、遺伝子解析ツールなどを開発するイルミナ、医療機器メーカーのバクスター・インターナショナルなどを新規に組み入れました。一方、ガン治療薬などを開発しているイミュノジェン、総合医薬関連サービス会社のエクスプレス・スクリプツ・ホールディングス、製薬会社のアステラス、買収（M&A）されることが発表されたキュービスト・ファーマシューティカルズやホスピーラ、NPSファーマシューティカルズその他、動物用医薬品メーカーのゾエティス、バイオ医薬品メーカーのシナゲバ・バイオフーマ、病院経営会社のフェニックス・ヘルスケア・グループやスパイア・ヘルスケア・グループなどを全部売却しました。また、保有していたコピディエンを買収・合併したメドトロニックを引き続き保有しました。なお、アラガンを買収したアクタビスはアラガンに社名変更しました。その他、保有銘柄の組入比率調整を経て、期末における組入銘柄数は65銘柄としました。

## (ご参考)

## 株式組入上位10銘柄

期末 (2015年8月27日)

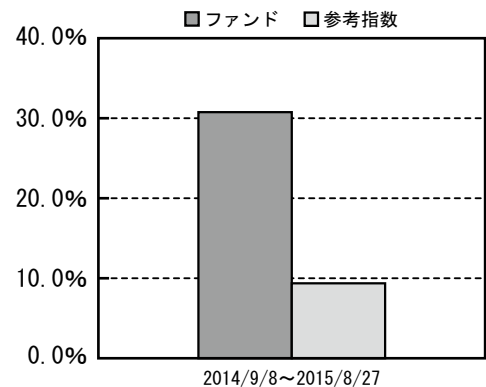
	銘柄	比率
1	ブリストル・マイヤーズスクイブ	6.3%
2	リジェネロン・ファーマシューティカルズ	5.6%
3	イーライ・リリー	4.8%
4	ギリアド・サイエンシズ	4.0%
5	メルク	4.0%
6	メドトロニック	3.9%
7	アラガン	3.8%
8	塩野義製薬	2.8%
9	HCAホールディング	2.7%
10	マッケソン	2.5%

(注) 比率はマザーファンドの株式の純資産総額に対する評価額の割合です。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率の対比です。
- ・参考指数はMSCI ワールド・ヘルスケア指数（米ドル建て税引き後配当込み）です。

基準価額（ベビーファンド）と参考指数の対比（騰落率）



## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 【分配原資の内訳】

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第 1 期
	2014年9月8日～2015年8月27日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,077

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### <世界メディカル関連株式オープン>

- ・引き続き、世界メディカル関連株式オープン マザーファンドを主要投資対象とし、実質的な運用はマザーファンドで行います。実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

### <世界メディカル関連株式オープン マザーファンド>

- ・引き続き、世界の主要先進国市場の製薬、医療機器、バイオテクノロジー、医療サービス企業などの医療関連（メディカル関連）企業の株式を投資対象とし、これらの企業に分散投資を行う方針です。なお、運用指図に関する権限をウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託しています。
- ・中小型のバイオテクノロジー関連銘柄を中心に株価が高騰したため、短期的なリスクはあるものの、中長期的にはバイオテクノロジー関連の企業業績の高成長などを背景に、引き続きヘルスケアセクターの投資魅力は高いとみています。一方、医薬品や医療サービスへの価格抑制圧力、バイオテクノロジーの発展は企業間のグローバルな優勝劣敗をもたらすと予想され、銘柄選択が引き続き重要と考えています。
- ・運用手法はファンダメンタルズ分析による徹底したボトムアップ・アプローチに基づき、銘柄の時価総額規模にとらわれず、割安な価値（バリュエーション）に放置され、今後中期的に株価の上昇が見込まれる銘柄や市場平均以上の収益拡大が見込まれると判断される銘柄などに投資を行う方針です。



## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2014年9月8日～2015年8月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	265	2.095	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間日数}}$
（投信会社）	(172)	(1.363)	当ファンドの運用、受託会社への運用指図、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	( 86)	(0.679)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	( 7)	(0.052)	当ファンドの財産の保管および管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	7	0.053	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
（株式）	( 7)	(0.053)	売買委託手数料は、有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(c) 有価証券取引税	5	0.041	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
（株式）	( 5)	(0.041)	有価証券取引税は、有価証券取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	10	0.081	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	( 9)	(0.071)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用等
（監査費用）	( 1)	(0.010)	監査法人に支払われる当ファンドの監査費用等
合 計	287	2.270	
期中の平均基準価額は、12,657円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2014年9月8日～2015年8月27日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
世界メディカル関連株式オープン マザーファンド	20,060,119	23,420,374	3,600,665	4,470,212

(注) 口数・金額の単位未満は切り捨てです。

## ○株式売買比率

(2014年9月8日～2015年8月27日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	世界メディカル関連株式オープン マザーファンド
(a) 当期の株式売買金額	29,445,348千円
(b) 当期の平均組入株式時価総額	14,817,475千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.98

(注) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

## ○利害関係人との取引状況等

(2014年9月8日～2015年8月27日)

## 利害関係人との取引状況

&lt;世界メディカル関連株式オープン マザーファンド&gt;

区 分	当 期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	$\frac{D}{C}$
株 式	百万円 24,032	百万円 85	% 0.4	百万円 5,413	百万円 2	% 0.0
為 替 直 物 取 引	25,804	—	—	8,044	—	—

平均保有割合100.0%

(平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該子投資信託の親投資信託所有口数の割合です。)

## 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額 (A)	8,135千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額 (B)	39千円
(B) / (A)	0.5%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、モルガン・スタンレーMUFJ証券株式会社です。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2014年9月8日～2015年8月27日)

該当ありません。

## ○組入資産の明細

(2015年8月27日現在)

## 親投資信託残高

種 類	当 期 末	
	口 数	評 価 額
世界メディカル関連株式オープン マザーファンド	千口 16,459,454	千円 21,958,557

(注1) 当マザーファンド全体の受益権口数は16,459,454千口です。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切り捨てです。

マザーファンドの組入資産の明細につきましては、マザーファンド頁をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2015年8月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
世界メディカル関連株式オープン マザーファンド	千円 21,958,557	% 97.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	504,657	2.2
投 資 信 託 財 産 総 額	22,463,214	100.0

(注1) 世界メディカル関連株式オープン マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(20,018,574千円)の投資信託財産総額(22,758,848千円)に対する比率は88.0%です。

(注2) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、8月27日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=120.06円、1ユーロ=136.17円、1イギリス・ポンド=185.94円、1スイス・フラン=126.14円です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てです。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年8月27日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資 産	22,463,214,073
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	504,655,957
世界メディカル関連株式オープン マザーファンド(評価額)	21,958,557,586
未 収 利 息	530
(B) 負 債	291,753,951
未 払 解 約 金	91,046,203
未 払 信 託 報 酬	199,704,540
そ の 他 未 払 費 用	1,003,208
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	22,171,460,122
元 本	16,954,351,953
次 期 繰 越 損 益 金	5,217,108,169
(D) 受 益 権 総 口 数	16,954,351,953口
1万口当たり基準価額 (C/D)	13,077円

(注1) 損益の状況の中で

- ・(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- ・(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- ・(E)追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注2) 当ファンドの期首元本額は1,289,352,639円、期中追加設定元本額は33,153,304,759円、期中一部解約元本額は17,488,305,445円です。

(注3) 1口当たり純資産額は、当期末1,3077円です。

(注4) 当ファンドの投資対象である「世界メディカル関連株式オープン マザーファンド」において、信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するため要する費用として、信託財産の純資産総額に応じて別に定める率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

25億円以下の部分に対して	年1万分の75
25億円超50億円以下の部分に対して	年1万分の65
50億円超100億円以下の部分に対して	年1万分の55
100億円超の部分に対して	年1万分の45

(注5) 分配金の計算過程

項 目	当 期 末
(a) 配当等収益(費用控除後)	72,445,647円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後)	235,357,398
(c) 信託約款に規定する収益調整金	4,909,305,124
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	—
(e) 分配対象収益(a+b+c+d)	5,217,108,169
(f) 分配金額	—
(g) 分配金額(1万口当たり)	—

※本運用報告書作成時点において、本計算期間に係るファンドの監査は終了していません。

## ○損益の状況 (2014年9月8日～2015年8月27日)

項 目	当 期
	円
(A) 配 当 等 収 益	131,886
受 取 利 息	131,886
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	630,083,767
売 買 益	2,864,163,935
売 買 損	△ 2,234,080,168
(C) 信 託 報 酬 等	△ 322,412,608
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	307,803,045
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	4,909,305,124
( 配 当 等 相 当 額 )	( 55,037)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	( 4,909,250,087)
(F) 計 (D+E)	5,217,108,169
(G) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (F+G)	5,217,108,169
追 加 信 託 差 損 益 金	4,909,305,124
( 配 当 等 相 当 額 )	( 30,204,153)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	( 4,879,100,971)
分 配 準 備 積 立 金	307,803,045

## ○分配金のお知らせ

当期分配金はありません。

\*三菱ＵＦＪ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<http://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

### 【お知らせ】

- ①「運用報告書（全体版）」について電磁的方法により提供するための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- ②投資信託の併合及び約款変更並びに投資信託契約の解約に関する書面決議に係る受益者数要件を廃止するための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- ③受益者の利益に及ぼす影響が軽微な投資信託の併合に関する書面決議を不要とするための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- ④反対受益者の受益権買取請求の規定を適用除外とするための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- ⑤デリバティブ取引等に係る投資制限を規定するための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- ⑥新投資口予約権に係る制度が創設されたことを受け、運用の指図範囲の有価証券に「新投資口予約権証券」を追加するための、所要の約款変更を2015年6月4日に行いました。
- ⑦委託者である「国際投信投資顧問株式会社」は「三菱ＵＦＪ投信株式会社」との合併により解散し、存続会社である「三菱ＵＦＪ投信株式会社」は2015年7月1日付で「三菱ＵＦＪ国際投信株式会社」と商号変更するための、所要の約款変更を2015年7月1日に行いました。
- ⑧委託者が受益者に対してする公告は、電子公告の方法により行うための、所要の約款変更を2015年7月1日に行いました。
- ⑨2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。）の税率が適用されます。

## 世界メディカル関連株式オープン マザーファンド

### 《第1期》決算日2015年8月27日

[計算期間：2014年9月8日～2015年8月27日]

「世界メディカル関連株式オープン マザーファンド」は、8月27日に第1期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第1期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信託財産の成長を目指して運用を行います。</li> <li>・主として、世界主要先進国市場の医療関連企業の株式に関する運用指図の権限をウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託します。</li> </ul>
主要投資対象	世界主要先進国市場の中から、製薬、バイオテクノロジー、医療製品、医療・健康サービス等の医療関連（メディカル関連）企業の株式
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式への投資割合は、制限を設けません。</li> <li>・同一銘柄の株式への投資割合は、取得時において、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。</li> <li>・外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。</li> </ul>

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		米ドル為替		参考指数※		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	期中騰落率	期中騰落率	期中騰落率	期中騰落率					
(設定日) 2014年 9月 8日	円 10,000	% —	円 105.57	% —	245.34	% —	% —	% —	百万円 1,276
1期 (2015年 8月27日)	13,341	33.4	120.06	13.7	267.79	9.2	97.1	—	21,959

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

(注2) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		米ドル為替		参考指数※		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率				
(設定日) 2014年 9月 8日	円 10,000	% —	円 105.57	% —	245.34	% —	% —	% —
9月末	10,382	3.8	109.45	3.7	246.77	0.6	89.5	—
10月末	10,793	7.9	109.34	3.6	250.84	2.2	97.3	—
11月末	12,005	20.1	118.23	12.0	259.01	5.6	94.8	—
12月末	12,369	23.7	120.55	14.2	256.67	4.6	94.0	—
2015年 1月末	12,569	25.7	118.25	12.0	262.60	7.0	96.6	—
2月末	12,972	29.7	119.27	13.0	271.73	10.8	95.8	—
3月末	13,446	34.5	120.17	13.8	278.44	13.5	95.3	—
4月末	13,161	31.6	119.00	12.7	276.86	12.8	96.3	—
5月末	14,314	43.1	123.73	17.2	283.83	15.7	97.2	—
6月末	14,104	41.0	122.45	16.0	278.33	13.4	96.3	—
7月末	14,693	46.9	124.04	17.5	288.18	17.5	97.0	—
(期 末) 2015年 8月27日	13,341	33.4	120.06	13.7	267.79	9.2	97.1	—

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 騰落率は設定日比です。

(注3) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

## 参考指数に関して

※参考指数は、MSCI ワールド・ヘルスケア指数（米ドル建て税引き後配当込み）（出所：MSCI）です。参考指数は基準価額との関連を考慮して、現地前営業日の数値を用いています。

出所：MSCI。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的の一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

以下、本報告書において上記「参考指数に関して」の記載を省略します。



## 運用経過

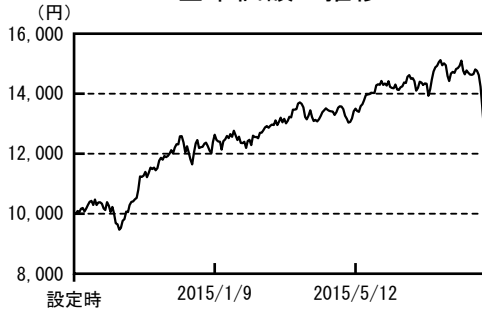
当期中の基準価額等の推移について

(第1期：2014/9/8～2015/8/27)

基準価額の動き

基準価額は設定時に比べ33.4%の上昇となりました。

## 基準価額の推移



## 基準価額の変動要因

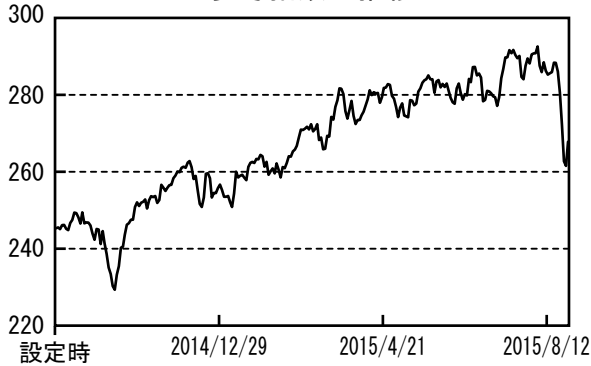
上昇要因

- ・米国の経済指標が堅調であったことや、日銀や欧州中央銀行（ECB）などによる金融緩和が継続するなか、ヘルスケアセクターの業績成長が期待されたことや合併・買収（M&A）が活発であったこと、オバマケア（米国医療保険制度改革法）による保険加入者数が増加したことなどから株価が上昇し、基準価額の上昇要因となりました。
- ・日銀による追加の金融緩和策や米国の利上げ観測などを背景に円安・米ドル高となったことも基準価額の上昇要因となりました。

## 投資環境について

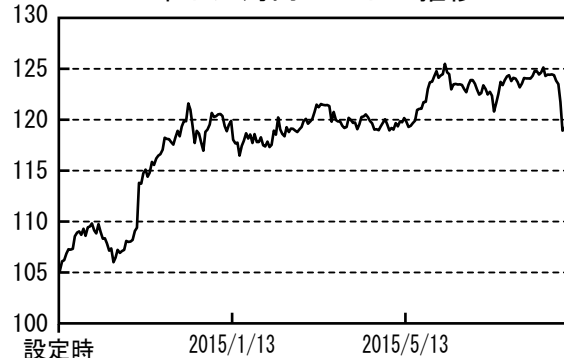
(第1期：2014/9/8～2015/8/27)

## 参考指数の推移



※当ファンドの参考指数は、MSCI ワールド・ヘルスケア指数（米ドル建て税引き後配当込み）（出所：MSCI）です。  
 ※参考指数は基準価額との関連を考慮して、現地前営業日の数値を用いています。

## (円) 米ドル対円レートの推移



(出所：三菱東京UFJ銀行／対顧客電信売買相場仲値)

## ◎株式市況

・当期のヘルスケアセクターの株価は上昇しました。期の初めから2014年9月末にかけては、スコットランド独立問題への懸念や香港の民主化要求デモなどの地政学リスクを背景に株式市場全体は軟調となったものの、ヘルスケアセクターは治験効果が良好だった一部の個別銘柄の上昇などにより堅調となりました。10月中旬にかけては、国際通貨基金（IMF）による世界の経済成長率予測の下方修正や世界経済の先行き不透明感などから下落したものの、10月下旬から2015年3月末にかけては、米国の経済指標が堅調であったことや日銀による追加の金融緩和策の決定、中国の金融緩和と政策、ECBの量的金融緩和などを受けて、株式市場は上昇基調となりました。4月から6月末にかけてのヘルスケアセクターの株価は、ヘルスケアセクターを取り巻く環境は良好だったものの、それまでに大幅に株価が上昇した反動から利益確定の売りが出やすかったことやギリシャの債務問題、中国の株価急落などの影響から、横ばいとなりました。7月から8月上旬にかけては、ギリシャ債務問題の沈静化や中国政府による株価下支え策などから株式市場全体が反発したことを受けて、ヘルスケアセクターの株価も上昇し、MSCI ワールド・ヘルスケア指数（米ドル建て税引き後配当込み）は8月5日に高値を更新しました。8月中旬から期末にかけては、中国株安や中国元の切り下げなどを受けて、ヘルスケアセクターの株価は急落しました。

## ◎為替市況

・当期の為替市況は、日銀による追加の金融緩和策や米国の利上げ観測などを背景に円安・ドル高となりました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

- ・世界の主要先進国市場の製薬、医療機器、バイオテクノロジー、医療サービス企業などの医療関連（メディカル関連）企業の株式を投資対象とし、これらの企業に分散投資を行いました。運用手法はファンダメンタルズ分析\*<sup>1</sup>による徹底したボトムアップ・アプローチ\*<sup>2</sup>に基づき、銘柄の時価総額規模にとらわれず、割安な価値（バリュエーション）に放置され、今後中期的に株価の上昇が見込まれる銘柄や市場平均以上の収益拡大が見込まれると判断される銘柄などに投資を行いました。なお、運用指図に関する権限をウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託しています。
  - \*<sup>1</sup>ファンダメンタルズとは、マクロ視点に立った場合、国の経済状態を表す経済指標のことを指し、ミクロ視点に立った場合には、個別企業の財務・収益状況を表す指標を指します。個別企業の財務データや業績見通しといった株価を動かす基本的な要因を重視した分析を、ファンダメンタルズ分析といいます。
  - \*<sup>2</sup>ボトムアップ・アプローチとは、投資対象となる個別企業の調査、分析に裏付けられた投資判断をもとに銘柄選定を行い、その積み上げによりポートフォリオを構築していく方法をいいます。
- ・当期は、設定日である2014年9月8日から株式を新規に組み入れ、9月10日の組入銘柄数は70銘柄としました。その後、バイオ医薬品会社のアーキリオン製薬、バイオ医薬品会社のシナゲバ・バイオフィーマ、がん治療システムメーカーのバリアン・メディカル・システムズ、遺伝子解析ツールなどを開発するイルミナ、医療機器メーカーのバクスター・インターナショナルなどを新規に組み入れました。一方、ガン治療薬などを開発しているイミュノジェン、総合医薬関連サービス会社のエクスプレス・スク립ツ・ホールディングス、製薬会社のアステラス、買収（M&A）されることが発表されたキュービスト・ファーマシューティカルズやホスピーラ、NPSファーマシューティカルズの他、動物用医薬品メーカーのゾエティス、バイオ医薬品メーカーのシナゲバ・バイオフィーマ、病院経営会社のフェニックス・ヘルスケア・グループやスパイア・ヘルスケア・グループなどを全部売却しました。また、保有していたコピディエンを買収・合併したメドトロニックを引き続き保有しました。なお、アラガンを買収したアクタビスはアラガンに社名変更しました。その他、保有銘柄の組入比率調整を経て、期末における組入銘柄数は65銘柄としました。

## （ご参考）

## 株式組入上位10銘柄

期末（2015年8月27日）

	銘柄	比率
1	ブリストル・マイヤーズスクイブ	6.3%
2	リジェネロン・ファーマシューティカルズ	5.6%
3	イーライ・リリー	4.8%
4	ギリアド・サイエンシズ	4.0%
5	メルク	4.0%
6	メドトロニック	3.9%
7	アラガン	3.8%
8	塩野義製薬	2.8%
9	HCAホールディング	2.7%
10	マッケソン	2.5%

（注）比率はマザーファンドの株式の純資産総額に対する評価額の割合です。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当マザーファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
- ・当マザーファンドの期中の騰落率はプラス33.4%、参考指数の期中の騰落率はプラス9.2%となりました。

## 今後の運用方針

- ・引き続き、世界の主要先進国市場の製薬、医療機器、バイオテクノロジー、医療サービス企業などの医療関連（メディカル関連）企業の株式を投資対象とし、これらの企業に分散投資を行う方針です。なお、運用指図に関する権限をウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託しています。
- ・中小型のバイオテクノロジー関連銘柄を中心に株価が高騰したため、短期的なリスクはあるものの、中長期的にはバイオテクノロジー関連の企業業績の高成長などを背景に、引き続きヘルスケアセクターの投資魅力は高いとみています。一方、医薬品や医療サービスへの価格抑制圧力、バイオテクノロジーの発展は企業間のグローバルな優勝劣敗をもたらすと予想され、銘柄選択が引き続き重要と考えています。
- ・運用手法はファンダメンタルズ分析による徹底したボトムアップ・アプローチに基づき、銘柄の時価総額規模にとらわれず、割安な価値（バリュエーション）に放置され、今後中期的に株価の上昇が見込まれる銘柄や市場平均以上の収益拡大が見込まれると判断される銘柄などに投資を行う方針です。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2014年9月8日～2015年8月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売買委託手数料 (株式)	円 7 ( 7 )	% 0.054 (0.054)	(a) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有価証券取引税 (株式)	5 ( 5 )	0.042 (0.042)	(b) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用 (保管費用)	9 ( 9 )	0.072 (0.072)	(c) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用等
合 計	21	0.168	
期中の平均基準価額は、12,800円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2014年9月8日～2015年8月27日)

## 株式

	買 付		売 付	
	株 数	金 額	株 数	金 額
内 国	千株	千円	千株	千円
上 場	395	1,261,451	105	247,937
外 国	百株		百株	
ア メ リ カ	29,223 ( 773)	千アメリカ・ドル 176,800 ( 3,112)	6,128 ( 336)	千アメリカ・ドル 37,100 ( 3,875)
ユ ー ロ		千ユーロ		千ユーロ
フ ラ ン ス	337	2,817	197	1,874
ス ペ イ ン	394	510	143	242
ベ ル ギ ー	342	2,327	62	415
イ ギ リ ス	4,407	千イギリス・ポンド 5,840	1,973	千イギリス・ポンド 1,326
ス イ ス	187 ( - )	千スイス・フラン 3,583 (△ 9)	21	千スイス・フラン 429
中 国 ( 香 港 )	3,775	千香港ドル 4,966	3,775	千香港ドル 5,754

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 株数・金額の単位未満は切り捨てです。

(注3) ( ) 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○株式売買比率

(2014年9月8日～2015年8月27日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 当期の株式売買金額	29,445,348千円
(b) 当期の平均組入株式時価総額	14,817,475千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.98

(注) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

## ○主要な売買銘柄

(2014年9月8日～2015年8月27日)

## 株式

買 付				売 付			
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
BRISTOL-MYERS SQUIBB CO(アメリカ)	215	1,392,405	6,459	ALLERGAN PLC (アメリカ)	13	470,720	34,560
ALLERGAN PLC (アメリカ)	36	1,088,943	29,793	NPS PHARMACEUTICALS INC(アメリカ)	62	320,539	5,131
MERCK & CO. INC. (アメリカ)	153	1,033,342	6,749	ZOETIS INC (アメリカ)	44	240,301	5,349
REGENERON PHARMACEUTICALS(アメリカ)	21	1,014,087	46,883	SANOFI (ユーロ・フランス)	17	225,464	12,672
ELI LILLY & CO (アメリカ)	122	979,203	7,990	CIGNA CORP (アメリカ)	11	185,664	16,726
GILEAD SCIENCES INC(アメリカ)	78	944,339	12,074	BRISTOL-MYERS SQUIBB CO(アメリカ)	23	160,948	6,881
MEDTRONIC PLC (アメリカ)	89	727,389	8,111	VARIAN MEDICAL SYSTEMS INC(アメリカ)	13	149,194	10,772
MYLAN NV (アメリカ)	82	636,853	7,725	HOSPIRA INC (アメリカ)	14	141,960	9,872
MCKESSON CORP (アメリカ)	26	624,654	23,474	MERCK & CO. INC. (アメリカ)	19	137,802	7,027
ASTRAZENECA PLC (イギリス)	73	596,245	8,107	CUBIST PHARMACEUTICALS INC(アメリカ)	11	134,748	11,507

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 株数・金額の単位未満は切り捨てです。

## ○利害関係人との取引状況等

(2014年9月8日～2015年8月27日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	当 期					
	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
株 式	24,032	85	0.4	5,413	2	0.0
為 替 直 物 取 引	25,804	—	—	8,044	—	—

## 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額 (A)	8,135千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額 (B)	39千円
(B) / (A)	0.5%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、モルガン・スタンレーMUF証券株式会社です。

## ○組入資産の明細

(2015年8月27日現在)

## 国内株式

銘柄		当 期 末	
		株 数	評価額
		千株	千円
医 薬 品 (84.9%)			
塩 野 義 製 薬		130.3	606,546
エ ー ザ イ		36.8	283,875
小 野 薬 品 工 業		8	120,960
第 一 三 共		72.2	162,666
電 気 機 器 (4.1%)			
シ ス メ ッ ク ス		7.6	55,936
精 密 機 器 (11.0%)			
オ リ ン パ ス		35.4	152,220
合 計	株 数 ・ 金 額	290	1,382,204
	銘柄数<比率>	6	<6.3%>

(注1) 銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率です。  
(注2) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率です。  
(注3) 株数合計・評価額の単位未満は切り捨てです。ただし、単位未満の株数は小数で記載しています。



## 外国株式

銘柄	当 期 末			業 種 等
	株 数	評 価 額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	千アメリカ・ドル	千円	
ABBOTT LABORATORIES	572	2,519	302,452	ヘルスケア機器・サービス
BAXTER INTERNATIONAL INC	737	2,777	333,451	ヘルスケア機器・サービス
BOSTON SCIENTIFIC CORP	1,993	3,263	391,857	ヘルスケア機器・サービス
CARDINAL HEALTH INC	217	1,819	218,475	ヘルスケア機器・サービス
CVS HEALTH CORP	187	1,928	231,573	食品・生活必需品小売り
ELI LILLY & CO	1,076	8,726	1,047,686	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MEDTRONIC PLC	997	7,204	864,928	ヘルスケア機器・サービス
MERCK & CO. INC.	1,334	7,264	872,178	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
TEVA PHARMACEUTICAL-SP ADR	435	2,824	339,105	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
UNITEDHEALTH GROUP INC	239	2,717	326,247	ヘルスケア機器・サービス
AETNA INC	223	2,573	309,018	ヘルスケア機器・サービス
AGILENT TECHNOLOGIES INC	285	1,015	121,881	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BAXALTA INC	259	921	110,612	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BECTON DICKINSON AND CO	265	3,716	446,239	ヘルスケア機器・サービス
BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	1,921	11,535	1,384,935	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CIGNA CORP	62	855	102,718	ヘルスケア機器・サービス
ENVISION HEALTHCARE HOLDINGS	490	2,016	242,134	ヘルスケア機器・サービス
HCA HOLDINGS INC	566	4,925	591,381	ヘルスケア機器・サービス
IMS HEALTH HOLDINGS INC	297	877	105,366	ヘルスケア機器・サービス
JOHNSON & JOHNSON	404	3,842	461,323	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MCKESSON CORP	229	4,539	545,023	ヘルスケア機器・サービス
QUINTILES TRANSNATIONAL HOLD	191	1,407	168,925	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ST JUDE MEDICAL INC	481	3,336	400,597	ヘルスケア機器・サービス
STRYKER CORP	255	2,526	303,340	ヘルスケア機器・サービス
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	202	2,537	304,684	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
VARIAN MEDICAL SYSTEMS INC	80	645	77,469	ヘルスケア機器・サービス
ALLERGAN PLC	229	7,016	842,355	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ZIMMER BIOMET HOLDINGS INC	89	900	108,064	ヘルスケア機器・サービス
BIOGEN INC	82	2,463	295,773	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INCYTE CORP	232	2,524	303,098	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ACADIA HEALTHCARE CO INC	122	861	103,469	ヘルスケア機器・サービス
ACHILLION PHARMACEUTICALS	753	552	66,375	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ACORDA THERAPEUTICS INC	195	624	74,977	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MEDICINES COMPANY	331	1,008	121,042	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
REGENERON PHARMACEUTICALS	191	10,270	1,233,053	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
SEATTLE GENETICS INC	130	526	63,223	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
VERTEX PHARMACEUTICALS INC	279	3,640	437,075	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
AGIOS PHARMACEUTICALS INC	128	1,127	135,335	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ALKERMES PLC	654	3,929	471,780	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ALNYLAM PHARMACEUTICALS INC	166	1,706	204,888	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ARENA PHARMACEUTICALS INC	2,735	744	89,329	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ATHENAHEALTH INC	156	2,061	247,561	ヘルスケア機器・サービス
CELGENE CORP	378	4,510	541,527	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CERNER CORP	167	1,032	123,938	ヘルスケア機器・サービス
GILEAD SCIENCES INC	687	7,353	882,861	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ILLUMINA INC	111	2,184	262,212	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス

銘	柄	当 期 末			業 種 等
		株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		百株	千アメリカ・ドル	千円	
IRONWOOD PHARMACEUTICALS INC		518	570	68,443	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MYLAN NV		669	3,423	410,983	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ULTRAGENYX PHARMACEUTICAL IN		165	1,778	213,531	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
WALGREENS BOOTS ALLIANCE INC		342	2,924	351,108	食品・生活必需品小売り
小 計	株 数・金 額	23,532	152,054	18,255,622	
	銘柄数<比率>	50	—	<83.1%>	
(ユーロ…フランス)			千ユーロ		
ESSILOR INTERNATIONAL		140	1,451	197,600	ヘルスケア機器・サービス
小 計	株 数・金 額	140	1,451	197,600	
	銘柄数<比率>	1	—	<0.9%>	
(ユーロ…スペイン)					
ALMIRALL SA		250	412	56,229	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小 計	株 数・金 額	250	412	56,229	
	銘柄数<比率>	1	—	<0.3%>	
(ユーロ…ベルギー)					
UCB SA		280	1,830	249,296	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小 計	株 数・金 額	280	1,830	249,296	
	銘柄数<比率>	1	—	<1.1%>	
ユ ー ロ 計	株 数・金 額	672	3,694	503,126	
	銘柄数<比率>	3	—	<2.3%>	
(イギリス)			千イギリス・ポンド		
ASTRAZENECA PLC		652	2,560	476,068	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
SMITH & NEPHEW PLC		841	915	170,298	ヘルスケア機器・サービス
NMC HEALTH PLC		346	251	46,828	ヘルスケア機器・サービス
AL NOOR HOSPITALS GROUP		593	485	90,362	ヘルスケア機器・サービス
小 計	株 数・金 額	2,434	4,214	783,557	
	銘柄数<比率>	4	—	<3.6%>	
(スイス)			千スイス・フラン		
ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN		77	1,989	250,947	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ACTELION LTD-REG		88	1,128	142,363	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小 計	株 数・金 額	165	3,118	393,310	
	銘柄数<比率>	2	—	<1.8%>	
合 計	株 数・金 額	26,804	—	19,935,617	
	銘柄数<比率>	59	—	<90.8%>	

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率です。

(注3) 株数・評価額の単位未満は切り捨てです。

## ○投資信託財産の構成

(2015年8月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株 式	21,317,822	93.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,441,026	6.3
投 資 信 託 財 産 総 額	22,758,848	100.0

(注1) 当期末における外貨建純資産(20,018,574千円)の投資信託財産総額(22,758,848千円)に対する比率は88.0%です。

(注2) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、8月27日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=120.06円、1ユーロ=136.17円、1イギリス・ポンド=185.94円、1スイス・フラン=126.14円です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てです。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年8月27日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資 産	23,207,042,173
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,422,388,526
株 式 ( 評 価 額 )	21,317,822,042
未 収 入 金	449,236,603
未 収 配 当 金	17,594,380
未 収 利 息	622
(B) 負 債	1,247,911,986
未 払 金	1,247,911,986
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	21,959,130,187
元 本	16,459,454,004
次 期 繰 越 損 益 金	5,499,676,183
(D) 受 益 権 総 口 数	16,459,454,004口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	13,341円

(注1) 損益の状況の中で

・(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

・(C)信託報酬等は外貨建資産の保管費用等のことです。

・(E)追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

・(F)解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注2) 当マザーファンドの期首元本額は1,276,459,113円、期中追加設定元本額は18,783,660,572円、期中一部解約元本額は3,600,665,681円です。

(注3) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、世界メディカル関連株式オープン16,459,454,004円です。

(注4) 1口当たり純資産額は、当期末1,3341円です。

## ○損益の状況 (2014年9月8日～2015年8月27日)

項 目	当 期
	円
(A) 配 当 等 収 益	149,070,991
受 取 配 当 金	148,961,048
受 取 利 息	109,943
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	2,870,767,838
売 買 益	3,620,550,533
売 買 損	△ 749,782,695
(C) 信 託 報 酬 等	△ 10,870,512
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	3,008,968,317
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	3,360,254,672
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 869,546,806
(G) 計 (D + E + F)	5,499,676,183
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	5,499,676,183

## [お 知 ら せ]

①投資信託の併合及び約款変更並びに投資信託契約の解約に関する書面決議に係る受益者数要件を廃止するための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。

②受益者の利益に及ぼす影響が軽微な投資信託の併合に関する書面決議を不要とするための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。

③反対受益者の受益権買取請求の規定を適用除外とするための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。

④デリバティブ取引等に係る投資制限を規定するための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。

⑤新投資口予約権に係る制度が創設されたことを受け、運用の指図範囲の有価証券に「新投資口予約権証券」を追加するための、所要の約款変更を2015年6月4日に行いました。

⑥委託者である「国際投信投資顧問株式会社」は「三菱UFJ投信株式会社」との合併により解散し、存続会社である「三菱UFJ投信株式会社」は2015年7月1日付で「三菱UFJ国際投信株式会社」と商号変更するための、所要の約款変更を2015年7月1日に行いました。

⑦委託者が受益者に対してする公告は、電子公告の方法により行うための、所要の約款変更を2015年7月1日に行いました。